

事務事業名		人と環境に優しい農業推進事業				会計	一般会計					
						事業種別	政策	開始	16	終了		
課等名	農業課		係等名	生産振興係								
基本計画上の位置づけ	政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり									
	施策	55	日常的な環境負荷低減活動の展開									
目的	対象(誰・何を)	①農業者 ②市内果樹園		対象指標	指標名及び単位			24年度数値				
	意図(どういう状態にするか)	①減農薬・減化学肥料等の環境配慮型農法を取り組む ②安定した収量を確保できる減農薬技術を取り入れる			市内農家数(戸) ※2010センサスデータ	5021						
	向上させたい上位施策の成果指標	飯田市が定める環境目標の達成率(水質BOD)%			市内全果樹面積(ha) ※作物統計データ	637						
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)			
	成果指標	環境保全型農業直接支払対策事業への参加農業者			10	2	10	15				
	成果指標	環境保全型農業の学習会参加農業者			40	20	50	60				
定性目標												
事業概要	<p>地球温暖化防止や、生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者に対して、取組面積に応じた支援を、国と地方自治体(県・市)が同額の負担を行い、資源環境負荷の低減を図る また、対象となる農法や農業技術が専門的であるため、専門家による学習会を頻繁に行い、制度の内容と農法・技術を教示し、より多くの農業者に取り組んでもらうことにより、環境負荷低減を実践する農家を増やしていく</p> <p>○H23年度から創設された「環境保全型農業直接支払交付金」の交付要件が見直される予定であり、対象者及び農地面積が増加することが予想される。</p>											
事業内容					名称			活動指標				
24年度事業内容	1 環境保全学習会等の実施 (1) 農業改良普及センターと連携した勉強会の開催				1	(1) 勉強会		1 (1) 1回				
	2 環境保全型農業直接支払への取組 (1) 制度内容、申請の説明会開催 (2) 現地確認				2	(1) 説明会 (2) 現地確認		2 (1) 1回 (2) 2回				
事業コスト	23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足							
事業費計(千円)①	450	68	67	100	[24特定財源] 環境保全型農業直接支払交付金(県1/4)							
国庫支出金												
県支出金	26	33	33	50								
起債												
その他												
一般財源	424	35	34	50								
人件費計(千円)②	286		286									
正規職員所要時間	80		80									
臨時職員所要時間												
総事業費①+②	736	68	353	100								
事業内容・目標達成状況の振り返り	<p>昨年度に続き平成24年度も有機農業者2名からの申請に留まった。この事業は慣行栽培に対して有機栽培等の経費増加部分を対象とする交付金であるため、慣行栽培農家からの申請は行えない。また、果樹生産者や慣行栽培の生産者でもエコファーマーを取得している者がいるが、それらからの申請がない状況である。</p>											
改革改善の考え方	①問題点	有機栽培を行っている生産者からの申請だけとなり、慣行栽培や果樹栽培の生産者のなかでもエコファーマー取得者からの申請がない。										
	②改革提案	県と連動し、エコファーマー取得の農家への説明や案内を拡充し、環境課とも連動したうえで、市内の農業者へ環境保全の意識の啓発活動も実施する必要がある。										